

2025年12月15日

## 路線バス（乗合バス）の上限運賃変更認可申請について

東武バス株式会社  
東武バスセントラル株式会社  
東武バスウエスト株式会社

東武バスグループの東武バスセントラル株式会社（本社：東京都足立区、社長：岩田敏之）、東武バスウエスト株式会社（本社：埼玉県さいたま市、社長：金井応季）では、埼玉県内における路線バス（乗合バス）運賃について、2025年12月15日、関東運輸局に乗合バス運賃の上限運賃変更認可申請を行いました。

日頃より、ご利用いただいておりますお客様には、何卒事情をご賢察のうえご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 1. 申請理由

弊社グループは、これまで「輸送の安全・安心」をバス事業の根幹と掲げ、車両への安全装置の設置や乗務員への安全教育に取り組むとともに、路線網の拡充や利用者サービスの充実を図るなど、「安全・安心」の確保を最優先に輸送サービスを提供してまいりました。

しかしながら、少子高齢化や人口減少、コロナ禍以降の移動需要の低迷のほか、深刻化する運転士不足に対応するための人件費および安全確保にむけた定期的な車両代替や環境対策に係る経費等が増加していたため、2023年7月22日に東京都特別区内および埼玉県内、2025年8月2日に東京都特別区内および千葉県内において運賃改定を実施いたしました。

2024年および2025年春には、運賃改定による増収分を原資として、運転士の処遇改善を実施し、採用数や離職抑制に一定の効果がみられる状況になってきましたが、未だ要員不足の解消までには至らず、人材確保が必要であると考えております。

このような状況の中、多くのお客様にはご負担をおかけいたしますが、今後も公共交通事業者として「安全・安心」を確保するとともに、経営の効率化をさらに推し進めるほか、ご利用いただきやすいサービスの提供に努め、安定的にバス事業を継続していくため、上限運賃の変更を申請いたしました。

### 2. 申請概要

#### (1) 東武バスセントラル株式会社

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| ① 申請日        | 2025年12月15日     |
| ② 運賃改定実施予定日  | 2026年 3月28日（予定） |
| ③ 申請対象路線     | 埼玉県内の全路線        |
| ④ 上限運賃の平均改定率 | 10.54%          |

なお、実施運賃については、多くの区間で上限運賃より低額な運賃としており、実際の平均改定率は8.89%を予定しております。

⑤ 現行・申請運賃比較表

初乗り運賃	現行運賃	実施運賃(予定)※1	申請(上限)運賃※2
	現金・ICカード	現金・ICカード	現金・ICカード
	200円	220円	260円
同 定期券 (通勤1か月)	9,000円	9,900円	11,700円

※1 実施運賃は、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃額です。

※2 申請(上限)運賃は、事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

⑥ 主要区間の運賃

区 間	片道運賃		定期券(通勤1か月)	
	現行運賃	実施運賃(予定)	現行	実施予定
	現金・ICカード	現金・ICカード		
吉川駅北口～吉川きよみ野	210円	230円	9,450円	10,350円
獨協大学前駅東口～工業団地南	260円	280円	11,700円	12,600円
草加駅東口～八潮駅北口	280円	310円	12,600円	13,950円

⑦ 申請地区における収支状況および輸送人員

		輸送人員	収支状況
2023年度(申請実績年度)		11百万人	58百万円
2026年度(申請推定年度)※3	運賃改定前	9百万人	△878百万円
	運賃改定後	8百万人	△774百万円

※3 2026年度(申請推定年度)運賃改定後の輸送人員、収支状況は申請(上限)運賃での推計値です。

(2) 東武バスウエスト株式会社

- ① 申請日 2025年12月15日
- ② 運賃改定実施予定日 2026年 3月28日(予定)
- ③ 申請対象路線 埼玉県内の全路線
- ④ 上限運賃の平均改定率 16.45%

なお、実施運賃については、多くの区間で上限運賃より低額な運賃としており、実際の平均改定率は13.95%を予定しております。

⑤ 現行・申請運賃比較表

初乗り運賃	現行運賃	実施運賃(予定)※1	申請(上限)運賃※2
	現金・ICカード	現金・ICカード	現金・ICカード
	200円	220円	260円
同 定期券 (通勤1か月)	9,000円	9,900円	11,700円

※1 実施運賃は、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃額です。

※2 申請(上限)運賃は、事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

⑥ 主要区間の運賃

区 間	片道運賃		定期券(通勤1か月)	
	現行運賃	実施運賃(予定)	現行	実施予定
	現金・ICカード	現金・ICカード		
川越駅～神明町車庫	220円	250円	9,900円	11,250円
大宮駅西口～シティハイツ三橋	240円	280円	10,800円	12,600円
志木駅東口～富士見高校	310円	350円	13,950円	15,750円

⑦ 申請地区における収支状況および輸送人員

		輸送人員	収支状況
2023年度(申請実績年度)		28百万人	741百万円
2026年度(申請推定年度)※3	運賃改定前	25百万人	△1,780百万円
	運賃改定後	23百万人	△1,234百万円

※3 2026年度(申請推定年度)運賃改定後の輸送人員、収支状況は申請(上限)運賃での推計値です。

なお、65歳以上のお客様を対象に発売している「ラブリーパス」について、今回の運賃改定においては発売金額を据え置きます。

3. 経営合理化状況、およびこれまでの取り組み

弊社グループでは、これまで事業会社の合併や事業所の統廃合による組織再編のほか、生活様式の変化に伴う運行ダイヤの再編や、車両使用期間延長による設備投資額の削減を図るなど、経営合理化に資する施策を講じてまいりました。

また、安全・安心に関する取り組みとして、自社所有の運転訓練車や運転訓練コースを使用した安全運転教習の充実に努めるとともに、サービス向上策として、金額式IC定期券や65歳以上のお客様を対象としたラブリーパス、学生いちねん定期券の発売などを実施してまいりました。

4. サービス向上や社会的課題への取り組み

今後は、決済手段の多様化に対応したキャッシュレス決済の拡充、脱炭素社会実現にむけた低環境負荷車両(EVバス等)の運行や、デジタルサイネージによるスマートバス停の導入を行うなど、お客様にご利用いただきやすいバスを目指してまいります。

あわせて、現在も複数の地域で実証実験に参画している自動運転など、最新技術導入への取り組みを推進するとともに、労働力不足への対応については、従業員の処遇改善や働き方の見直しのほか、DXによる業務の効率化等にも努めるなど、今後も様々な社会的課題へ積極的に対応してまいります。

以 上

【このリリースに関するお問合せ先】

東武バス株式会社 経営企画部(総務担当) 森田・金子 ☎03-3621-0102